

2023 年度事業報告

1. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

1)事業の推進

資源環境の拠点として資源の有効活用に取り組み、地域にアピールをしました。

(金額はすべて消費税抜きです)

(1) 中田店

目標額 440 万円 実績 4,187,826 円 (前年 4,464,816 円)

達成率 95.2 % 提供者数 1,279 人 (前年 1,375 人)

- ① 近隣の WE ショップが閉店したので影響で物品の提供が増え、またボランティアにも参加する人もみられました。
- ② 通信大学に通う 21 歳の学生が WE ショップでの経験を重ねて社会に一步踏み出しました。また、共同の家プランから受け入れた女性もボランティアを経て介護職の就労と資格を取得することができました。
- ③ 商店街のスタンプラリーや野球観戦などのイベントに参加し、交流を深めました。
- ④ 初めての試みとしてお年玉くじを実施しました。皆さん楽しめるなど、好評でした。
- ⑤ 東中田小学校 4 年生の総合学習に取り組み、WE ショップの役割と環境と国内外の支援について説明し、理解を深めることになりました。

(2) 領家店

目標額 440 万円 実績 3,955,143 円 (前年 4,295,753 円)

達成率 89.8% 提供者数 1,277 人 (前年 1,593 人)

- ① 多様なイベントを実施しましたが、売り上げが伸びずに苦戦した一年でした。
- ② 2 月には、日本チャリティーショップの研修に参加し、プロイダッツチャリティーショップスタッフのアドバイスにより、店内をリニューアルしました。広々として見やすくなりました。
- ③ 提供品が減少しているため、「提供品のお願い」チラシを集中的に一回まきましたが、あまり効果がありませんでした。しかし、他店とは提供品の循環を通して提供品の不足を補いました。
- ④ 地域の人たちの楽しく参加する場としてみつろうラップ作り、クリスマスフラワーアレンジメントを行いました。お楽しみ企画は大変好評でした。

(3) 萩丸店

目標額 430 万円 実績 4,304,230 円 (前年 4,215,736 円)

達成率 100 % 提供者数 1,272 人 (前年 1,399 人)

- ① 今年度から会計担当者スタッフを配置しましたが、日々の運営は、ボランティアが責任を持って運営した結果、目標を達成しました。
- ② 1 ヶ月の売上目標を平均 35 万円とし、達成するためにセールだけでなくお楽しみくじなど、さまざまなイベントを実施しました。半額セールは毎月 1~2 回行い好評でした。

- ③ 物流の拠点となるよう努めました。
- ④ 着物フェアは規模を縮小して行いました。また毎週土曜日を和物半額の日とした結果、リメイク好きの方などが楽しみながら購入して売りに繋がりました。
- ⑤ 区のボランティア講習会を経て紹介された方など、ボランティアが2人増えました。
- ⑥ 農産物（大豆、切干大根など）を販売して寄付につなげました。

ボランティアミーティングの開催

①中田

3回開催しました。（4/24、9/4、12/23）

コロナ禍も落ち着いてきましたが、感染対策をしながら開催しました。

各日とも12人の参加があり、月次報告、今後のショップのイベント内容の確認と意見交換をしました。また、ボランティアと意見交換などを通して活動を発展させました。

②領家

3回開催しました。参加者が少ないため欠席者には後日説明をしました。

- ・ 4/27 （5人）年間の予定を皆で共有しました。
- ・ 9/15 （4人）後半のイベントを共有し、日々の作業の確認をしました。
- ・ 12/18 （4人）イベントの結果を報告し、品出しの注意点を共有しました。

③萩丸

3回行いました。

- ・ 5/12 4人 5/13 : 5人
- ・ 9/12 7人 9/13 : 7人
- ・ 12/27 6人

計5回開催しました。実施するイベントについて話し合う機会となりましたが、参加を広げるために2日に分けたので、十分な意見交換までにはなりませんでした。

連絡ノートを置いたものの、十分に使いこなせませんでした。

【期間】 通年

【場所】 泉区内のWEショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 事業総額 12,447,199円 （目標額計 1310万円 達成率 95.0%）

2. アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

- ① トルコとシリアの大地震の緊急募金に取り組み、ウクライナ支援同様にNPO法人ADRAジャパンに寄付をしました。募金：100,000円
- ② 核廃絶運動を広めるために、KNOW NUKES TOKYOと（社団法人）かたわらに支援をしました。毎月1日は核廃絶デーとして豆チラシを配布するなどのアクションを繰り返していましたが、夏場になり売上げが厳しくなったため、中止せざるを得ませんでした。しかし、KNT主催のイベントにボランティアとして参加して、若者の活動から学ぶ

ことができました (4/30 5人)

KNOW NUKES TOKYO 寄付金：103,379 円

(社団法人) かたわら 寄付金：59,015 円

- ③ イスラエルのガザ攻撃に対して店内で寄付を募り、20年間現地で子どもたちの心のケアをしている NPO 法人地球のステージに支援をしました。また、海老名で開催された地球のステージのイベントに参加し、活動の理解を深めました。

募金：252,186 円

- ④ 1月の能登半島大地震の緊急支援として募金に取組み、子どもたちの心のケアをしている NPO 法人地球のステージに寄付をしました。

募金：117,319 円

- ⑤ 継続事業として、以下のプログラムを支援しました。

- ・緑の芽有機農業学校：カンボジアで有機栽培を通してゆたかで幸福なコミュニティーの構築 助成金：200,000 円

【期間】 通年

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 カンボジア、パレスチナ、日本などの社会的に立場の弱い市民たち

【事業高】 831,899 円

3. 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業

1) キャンペーン事業

広報に力を入れて広く市民の語り掛け、以下のキャンペーンに取り組みました。

- ① 貧困なくそうキャンペーン (世界の貧困について学ぶ)

女性の貧困をテーマにパネルを展示し、またクイズを通して日本の貧困について理解を深めました。売り上げや募金は、今年度も DV 被害者の自立を支援している NPO 法人共同の家プランに寄付をしました。

【期間】 10月1日～30日

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 213,000 円 (募金：24,409 円、 寄付金：188,591 円)

- ② 愛のチョコ募金キャンペーン (放射能などを含めた核と子どもの影響について知る)

ショップ内で広報しながら販売しました。

【期間】 12月1日～2月10日

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 募金：82,500 円

③ 東日本震災キャンペーン（震災・津波・原発被害を知る）

ショップの売り上げ募金はNPO法人3.11甲状腺がん子ども基金に寄付をしました。
また、常時東北地方の生産者を支援する物産販売にも取り組みました。評判も良く定着してきました。

【期間】3月1日～31日

【場所】泉区内のWEショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】主に泉区の市民

【事業高】233,091円

支 援 団 体	支 援 金 額	助 成 対 象 の 事 業 等	点 検 評 価
KNOW NUKES TOKYO	103,379 円	平和な社会を作るために核廃絶に向けた活動	学生たちが中心となってウィーン会議へ参加するなど、国際的な連携を図っている
(一般社団法人)かたわら	59,015 円	平和な社会を作るために核廃絶に向けた活動	政策提言活動も含めて、多様な活動を実践している
緑の芽有機農業学校	200,000 円	有機栽培を通して「ゆたか」で幸福なコミュニティの構築	カンボジアで若者の人材育成により自立可能な地域づくりを実践している
特定非営利活動法人 日本イラク医療支援ネットワーク (JIM-NET)	82,500 円	チョコ募金を通してイラク・シリア・福島の子どもたちへの支援	子供たちの医療ケアだけでなく家族のサポートも実施している
特定非営利活動法人 3.11 甲状腺がん子ども基金	233,091 円	原発事故で被害を受けた甲状腺がんの治療費支援	治療費支援だけでなく家族のサポートを実践している
特定非営利活動法人 ADRA ジャパン	100,000 円	トルコ・シリア地震被害緊急支援	日常生活を破壊された人々の緊急支援
特定非営利活動法人 地球のステージ	252,186 円	イスラエルのガザ攻撃により子どもたちのトラウマ治療に取り組む活動支援	20年間の現地支援により若者が育ち、子どもたちのサポートをしている
特定非営利活動法人 共同の家プラン	213,000 円	DV 被害者の自立支援	暴力を受けた女性たちに対して一人一人の自立に応じたサポートを実践している
特定非営利活動法人 地球のステージ	117,319 円	能登半島地震緊急支援	能登半島の輪島市を拠点に子どもたちの心のケアに取り組んでいる
計	1,360,490 円		

2) 共育事業

①WE 講座の開催

- ・5/15 終了した JVC のカンボジア事業について、大村真理子さんによる撤退後の現地報告会をしました。
- ・5/27 継続して支援している「カンボジア有機農業学校」による有機農業の現状について米倉雪子さんによる報告会を開催しました。
- ・7/4 チャリティーショップの可能性をテーマに日本チャリティーショップ・ネットワークの共同代表の贅川恭子さんによる学習会を開催しました。ボランティアなど 20 人の参加があり、ショップ運営に繋がりました。

②平和な日常の写真展の開催

平和を身近に感じるために、日常生活の写真から平和を考える機会として、写真展を開催しました。継続して開催することで参加を広げ、今後は平和について考える機会にしていきます。

④ WE21 主催の講座参加

- ・8/29 インボイス学習会に参加し、今後の対応を図りました (3 人)
- ・9/24 武器輸出をテーマに「日本の形が変わる」講演会に参加しました (5 人)
- ・9/15・9/26 日本チャリティーショップ・ネットワーク主催の研修に参加しました (5 人)

【期間】4月1日～3月31日

【場所】泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】主に泉区の市民

【事業高】48,264 円

4)フェアトレード事業

- ①ジンジャーパウダーやクッキーなど支援先の情報を提供しながらフェアトレードについて理解を深める、販売に力を注ぎました。
- ②常時東北の物産などを販売して、生産者の支援に繋がりました。

【期間】4月1日～3月31日

【場所】泉区内の WE ショップ中田店・領家店・萩丸店

【対象者】主に泉区の市民

【事業高】346,614 円 (ジンジャーパウダー135,210 円、東日本物産 211,404 円)

5) 資源循環事業

日常的に廃油、羽毛布団の回収に取り組みました。また、売れ残った雑貨が廃棄（焼却）され、また WE21 のシステムの陶器回収も限界が見えたため、新たなリユース先としてタイへの輸出を扱う「侍プロジェクト」に参加しました。

廃油の回収量：790 kg (CO₂削減量 2,054 kg)

6)ネットワークを広げて、問題解決を図りました。

- ①国内の貧困を視野に入れてフードドライブに取り組み、地域のネットワークを広げました。
日常的に収集箱を設置しているので、地域の人たちの関心は高く、2 か所に寄付をしています。
- ②9/9「エコフェス in 江ノ島」に参加し、みつろうラップの販売やリユース品を通して、環境問題を他団体と一緒にアピールしました。ショップだけでなく他団体との連携の必要性を感じました。
- ③11/23 生活クラブ泉 commons のまつりに参加して、活動をアピールしました。
- ④3/24 藤沢の 7325 コーヒーショップとのコラボ企画で、親子対象に環境問題に関するワークショップに参加し、みつろうラップ作りを担当して大変好評でした。

4. 事業の広報普及を図る事業

1)広報紙やショップチラシを充実させ、発行しました。

- ・広報担当者を中心に、イベントやセールチラシ、販促グッズをタイムリーに作成することができ、売り上げに貢献しました。広報誌は2回発行しました。
- ・提供者のエリアとチラシ配布の分析を行い、戦略的に撒く必要性を共有しました。
- ・地域へのちらしまきは夏と冬のセールの時に、各 6000 枚をポスティングしました。

2)HP を充実させました。

3 ショップの情報と非営利の活動について、常に HP に掲載して情報を発信しました。
また、ショップ情報はホームページやInstagram で発信しました。

【期間】4月1日～3月31日

【場所】泉区内

【対象者】主に泉区の市民

【事業高】146,456円